

『対話で支える』 ～人知を超えて、ゆっくりと前進する～

2024年8月7日【『東京都立多摩南部地域病院』看護師長 小磯雅美氏、緩和ケア科部長 奥山隆二先生、患者・地域サポートセンター 患者支援グループ 主任 横溝真理子氏】と東久留米のジョナサンで面談した。大いに話が盛り上がった。

9月7日『多摩地域の医療職、介護職』を対象に『多摩緩和ケアカンファレンス開催100回・多摩南部地域緩和ケア病棟開棟11周年 記念講演会』（主催：東京都立多摩南部地域病院）（会場：多摩市のリンクフォレスト）を企画される（画像）。テーマ：『対話で地域を支える』とのことである。皆様の真摯な姿には、大いに感動した。多摩で、何時か『日本地域医療連携システム学会』を企画される予感がする。『多摩モデル＝医療維新の時代的到来』であろう。

8月10日は『がん哲学外来白鷺メディカル・カフェ開設9周年記念：明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい』（白鷺教会に於いて）に赴く（画像）。

8月11日は、ドキュメンタリー映画『新渡戸の夢 ～ 学ぶことは生きる証 ～』（野澤和之監督 新渡戸の夢映画製作委員会）の上映会が、『大泉学園ゆめりあホール』（西武池袋線「大泉学園駅」北口から徒歩1分）企画されている（画像）。筆者にとっては【がんと生きる言葉の処方箋】に続いて2作目である。

【新渡戸稲造(1862～1933)は、現在の岩手県盛岡市、南部藩士・新渡戸十次郎の三男として生まれる。米国で出版された『BUSHIDO The Soul of Japan』（邦題：『武士道』）の著者として知られる新渡戸は、大学教授や学長を務め、教育者としての業績を残している。新渡戸が32歳の札幌農学校教授時代に、貧しくて学校に通えない人々のために妻メリーと始めたのが『遠友夜学校』である(1894年)。生涯で唯一、新渡戸が創設した学校で、授業料無料・男女共学で年齢制限なしという当時としては画期的な学校であった。1944年の閉校まで50年間で約1,170人が卒業し、富や名誉より人格形成を重んじた教育が行われた。】と紹介されている。『歴史は人知を超えて、淡々と、ゆっくりと前進する』を痛感する。

第100回多摩緩和ケア 無料カンファレンス

特 別 講 演

対話で
地域を支える



講 師

樋野 興夫 ひの おきお
学校法人恵泉女学園 理事長
順天堂大学名誉教授
新渡戸稲造記念センター長

定 員

ハイブリット開催

会場・WEB100名ずつ（先着順）

申込期間

令和6年8月1日から令和6年8月31日

申込フォーム

右記二次元バーコード
または下記URLに
アクセスの上、
お申込みください。

二次元
コード

URL

日 時
2024年9月7日(土)
14時30分～16時

会 場
リンクフォレスト研修室A
(多摩市鶴牧3-5-3)



がん哲学外来白鷺メディカル・カフェ 開設9周年記念

「明日この世を去るとしても、 今日の花に水をあげなさい」

樋野 興夫 氏 講演会&メディカル・カフェ

2024年 8月10日(土)
PM14:00～16:00(開場13:30)

参加費無料
定員40名様
(事前予約制)
樋野興夫氏個人面談
3名(事前予約制)

プログラム

第1部 樋野興夫氏 講演会
質疑応答

第2部 メディカルカフェ(グループトーク)
4グループに分かれて、茶会をいただきながら、病気の事やお悩み事を自由に語り合います。

個人面談(ご予約者のみ)

樋野興夫(ひの おきお)
医学博士、順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、恵泉女学園理事長。2008年「がん哲学外来」を開設。「いのち」で生きる(小学館)「もしも突然、がんを告知されたら。」(東洋経済新報社)著書多数。

【会場】 日本キリスト教団白鷺教会

(東京都中野区白鷺4-7-10 最寄り駅:西武新宿線「鷺宮駅」下車徒歩6分)

〇メディカルカフェとは？
樋野興夫氏(順天堂大学名誉教授 医学博士)の提唱により始まった「メディカルカフェ」は、普段なかなか話せない病気の不安や仕事、人間関係・・・お茶を飲みながら気兼ねなく語り合う場所です。「病気であっても病人ではない」という気持ちを一緒に考えたり、共有してみませんか？「解決」は出来なくても「解消」できる、ホッとできる場所です。がん患者の方だけでなく、ご家族、ご友人、ご遺族、どなたでもお気軽にどうぞ。

お申込み・お問い合わせは、メール、HP、電話でお気軽にどうぞ

主催:がん哲学外来白鷺メディカル・カフェ

お申込みはこちらへ

MAIL: shirasagi.medicafe@gmail.com
https://shirasagi.medicafe.wixsite.com/shirasagi.medicafe
TEL: 090-9397-6387(太田)

白鷺メディカル・カフェHP

後援: 一般社団法人がん哲学外来・中野区社会福祉協議会
協力: 日本キリスト教団 白鷺教会・救世軍清瀬病院・なごみ訪問看護ステーション・臨床検査支援協会(ASCL)・中野区がん哲学連絡会
本事業は中野区が協賛・後援する促進事業の域に受け付けています

